

国保料引き下げ ニュース

2014年10月22日(水) No.5
札幌社保協事務局 発行
Tel823-0867 Fax821-3701
E-mail:s-syaho@kin-ikyo.or.jp
<http://www.sapporo-syahokyo.jp/>

国保料を下げよう!署名 まだ、到達は3,500筆! 団体・地域での取り組みを強めましょう!

西区は3000、白石区は3300の目標

10/17西区社保協主催で国保料引き下げの学習会と、署名推進の集会が行われ20人が参加。斉藤札幌社保協事務局長が講演を行い、行動提起では西区国保世帯の1割3000人分を集めようと提起されました。

10/18白石区社保協主催で「札幌市国保料引き下げを求める白石キックオフ集会」が開かれ、15人が参加。斉藤札幌社保協事務局長が学習講演を行った後、各団体の取り組みを交流しました。白石区では国保世帯の1割3300人分を目標に提起されました。



白石区キックオフ集会での東部民商工藤会長の発言

民商の国保料引き下げ署名は、10/17現在で500人ちょうどを集約しました。1人あたり5筆を目安にして1500人分を目安に取り組みを進めています。運動の提起を受けてから、機関会議でも意義や進め方を確認しながら、5回署名行動に取り組んでいます。今月に入り、毎週金曜日を「国保署名の街頭宣伝デー」として、30分程度の活動ですが、対話を重視しながら「だれもが一度は国民健康保険の被保険者になる」ことを伝え、市民の理解を広げています。

東部民商ではほぼ4割が国保加入者です。推計では2割前後が保険料を遅れながら払っています。事業主と1~2人の従業員で仕事をしている建設業種が多く、冬場は仕事の確保に奔走する状態ですから、仕事の運転資金や生活資金が優先して、国保料や税金まで手が回らずという状況だと思います。国保110番でも民商の会員や一般の相談者を含め、過半数が自営業者であることから、「払いたくても払えない」「高すぎて払いきれない」国保料は深刻な問題です。今回の引き下げ運動で署名目標を達成し、陳情でも零細な業者の実態を伝えて、札幌市の国保制度を社会保障の視点を強めるように訴えていきたいと思っています。



チカホ(駅前地下歩行空間)での 署名行動

11月25日(火)

10時~16時まで

駅前地下歩行空間北3条広場